



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第66号(令和元年5月号)

一輪の薔薇は造化の妙語る(直人)



全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之

〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内

理事長 仲野十和田

TEL03-3963-5572

理事長コラム

理事長 仲野十和田(ナカジユク・東京都)



☆3月20日。

「日本民間大賞」授賞式がありました。詳しい報告はあると思いますが、

ご本人が出席した渡辺公雄先生（人間教育渡辺塾）のお話から、まだ、塾

が社会で認知されていないときのお話を聞き、先人たちのご苦労の上に今の環境があることを再認識しました。一方で、その時代（昭和30～50年代）の塾人は、希望やエネルギーが満ち溢れていたと感じます。日本がどんどん良くなっていく環境だった背景もあるかもしれませんが、将来の日本とそれを担う子供たちへ、希望を持って関わっていきたく再認識させられました。

☆4月21日。

私塾ネット全国研修大会には、たくさんの皆様に集まっただきありがとうございます。前半の集客状況はとても厳しいものがありましたが、研修部長の田中宏道先生をリーダーに、事務局の鈴木正之先生が、毎日（というより申し込みがあると同時に）集客状況を発信していただき、結果、近年にない集客数になりました。ありがとうございます。木下晴弘氏の講演では、もともと指導者として持っていたメンタル的な部分を伝えていただき、初心に戻ったような気持ちになりました。

☆5月2日。

久しぶりに長江勝秋先生にお会いしました。以前より元気そうで、受け答えも明瞭になられていたので、嬉しかったです。お元気なころは、研修が終わるとライブハウスに連れて行ってもらうなど、可愛

がっていただきました。仕草などがとてもカッコよく、私の憧れの方です。また一緒に遊びに行きたいなあ。

さて、話は変わり、個人ことで大変恐縮ですが、先日33年前にナカジユクへ入塾第一号の生徒のお父さんに会いました。亡父が可愛がっていた方（すでに73歳）で、当時、私が塾を開くと聞いた途端、小学4年生のお子さんを迷わず私に預けてくれました。マイスペース(塾内報)100号記念誌(2009年)では、第一号の息子さんのことを書かせてもらったので、父が手紙を添えて届けていました。自分で酒屋を立ち上げ、おそらく私に継がせたかった気持ちはあったと思います。厳しい父親で、あまり仕事に会話などしたことがありませんでしたが、その手紙を見せてもらい、改めて父に塾という仕事を認めてもらったような気になりました。第一号の息子さんは42歳になっていて、家業を継いでいました。

今まで、たくさんの方への出会いをいただきました。誰一人いなくても今の私、今のナカジユクはありません。そう考えると、今はちょっと振り返って、過去への感謝の時期なのかな？とも思えてきます。来年は、私塾ネット20周年を迎えます。私塾ネットの創立から関わった方々の誰一人いなくても、今はなかったと思います。そんな感謝の気持ちを持ちながら、みなさんのお力を借りて、何か形にしていけたらと思っています。

1年後、皆様にお会いできることを楽しみにしております。

私塾ネットセンター会長退任にあたって

谷村 志厚 (AIM学習セミナー・千葉県)

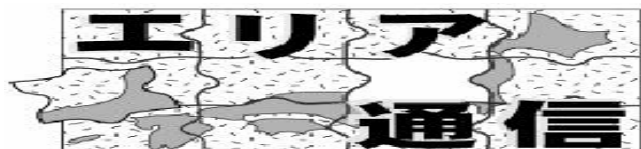
先の私塾ネット代表者会議において、仲野理事長に会長職退任要望を受け入れていただきました。3年前から代表者会議の毎に、会長職の退任を申し出ていました。しかしながらその都度熱心な慰留を受け、優柔不断のまま時間を重ねてきました。この間十分な役割を果たすこともままならず、執行部の皆さんには不甲斐ない思いをさせてしまったかと悔いるところです。

思い起こせば私と私塾ネットとの関りは、私塾ネット発足の3年前の1998年に始まります。その当時任意団体PTF(全日本私塾協会)の事務局を担当していました。その以前から交流の深かった全塾連(全国私塾連盟)との間で、団体合同の機運が芽生えていました。記録によれば同年6月23日に第1回の合同検討委員会が開かれています。この時の出席者は、PTFから安藤進理、中村成美(中村庸彦さん岳父)、馬場正彦、谷村志厚の4名、一方全塾連からは佐藤勇治、石川維雪、渡辺雅一(敬称略)の3名のお名前が記録されています。この会合が私塾ネット誕生の

第一歩となり、その後5回の検討委員会が開かれました。そして2年後の2000年6月から、私塾ネット設立準備委員会と名称を改め、1年後の新団体設立に向けての準備に入りました。

2001年6月、品川プリンスホテルを会場に私塾ネット設立総会が開催されました。初代理事長は山口恭弘先生、私はエリア関東の代表でした。3年後の2004年に山口先生が退任され会長に、私が2代目理事長となりました。そして4年後、山口先生が退任され、私が会長職を譲り受けました。これが2008年のことでしたので、会長職にはちょうど10年在職したことになります。ちょっと長すぎたようですね。これが今回退任させていただく一番の動機です。

会長職は鈴木正之副会長兼事務局長に引き継がれます。私塾ネットは理事長制ですので、会長に実務権限はありません。しかし首都圏では他団体や行政側との接点も多く、理事長と会長で職務を分担することが望まれます。その点で鈴木新会長は頼もしい存在です。仲野・鈴木体制での私塾ネットの運営、町の学習塾の存在意義が問われる昨今です。お二人のかじ取りに期待したいと思います。



エリア東北 柿崎 純 (個別指導Axis観光通り校・青森県)



個別指導Axis観光通り校の柿崎でございます。昨年に引き続き、青森県の入試情報について述べさせていただきます。なお、青森県（特に青森市）では県立高校入試が主ですので、ここでは県立高校入試に絞って説明します。

1. 概要

青森県立高校入試は例年、3月8日に行われ、3月14日に合格発表が行われます。平成31年度入試（以下、本年度入試とする）においては、全日制課程の募集人員8,243名（前年度8,578名）に対して8,587名（前年度9,007名）が出願し、最終出願倍率は1.04倍（前年度は1.05倍）となりました。本年度入試でも、商業・工業等の専門高校が高倍率となりました。

2. 学力検査

各科目100点満点です。本年度入試の内容をもとに特徴を述べます。

①国語（制限時間50分）

大問数は6つ。1問目が聞き取り検査です。問題用紙には資料のみ提示されていて、質問はある話とともに放送で流されます。要点を押さえたメモ作成が必須です。2問目は基本的な漢字の読み書きです。3問目は古典で、本年度は古文が出題されました。簡単な口語訳がごく一部だけ記載されているため、その訳を手がかりに内容を把握します。4問目は物語文、5問目は論説文の読解問題です。空欄補充や、選択、書き抜き、50字程度の記述問題、慣用句、文法が出題されました。題材文の表現を基に解答する典型問題です。6問目は作文で、資料を見ながら2段落構成で150字以上から200字以内でまとめます。本年度は資料解釈型が出題されました。

②数学（制限時間45分）

大問数は5つ。1問目は四則計算や方程式、文字式、関数、図形の基礎を問う小問集合です。本年度もここだけで40点前後を占めていますので、得点源とさせたいところです。2問目は作図と平均値の問題です。3問目は平面・空間図形の問題で、証明や、正方形の一辺の長さ、円柱の表面積、変域等が出題されました。4問目は放物線や双曲線、直線のグラフに基づく関数の問題で、文字の値や式、変域、座標について問われました。5問目は総合問題で、本年度は卒業文集に記載する記事を題材にした規則性の問題等が出題されました。

③英語（制限時間50分）

大問数は5つ。1問目はリスニング問題で、30点前後を占めています。放送される会話や文章を聞いて、質問にふさわしいものを1つ選ぶ形式です。2問目は資料と対話文を読みながら、並べ替え英作文や、空欄補充、条件英作文を問うています。3問目は対話文を読んで、対話が成立するのにふさわしい選択肢を選んだり、英文を書いたりする問題です。ここでは英問英答の書き方を押さえておくことが大切です。4問目はあるスピーチを読んで、適切な日本語を記入したり、質問に答えたり、日本語を英文にしたりする問題です。今回の英作文は前年度に比べてやや難しいと言えます。5問目はある出来事について、その内容にふさわしい選択肢を選んだり、要約文を完成させるのに相応しい単語を選んだり、日本語で説明したりする問題です。

④理科（制限時間45分）

大問数は6つ。1問目は生物・地学分野、2問目は物理・化学分野の小問集合です。本年度は動物の特徴や、細胞分裂、火山、天気図、アンモニア水、電流、磁石、ばねばかりが出題されました。3問目は生物分野で、植物全般について問われました。4問目は化学分野で、炭酸水素ナトリウムについて問われました。5問目は物理分野で、水中の物体に働く力について問われました。6問目は地学分野で、天体観察での報告書を題材とした問題が出題されました。

⑤社会（制限時間45分）

大問数は7つ。1問目は世界地理、2問目は日本地理となっています。地図の見方やグラフ、気候名、資料の読み取り、用語、施設の説明が問われています。3問目は古代から江戸時代までの歴史、4問目は明治から戦後までの歴史となっています。年表の並べ替えや資料の空欄補充、ある出来事について合致しないものの選択を問うています。5問目は公民の「三権分立」が、6問目は公民の「金融と銀行の仕組み」が出題され、空欄補充や適語選択、用語記述、短文説明が課されました。7問目は地理、歴史、公民の融合問題で、本年度はブラジルを題材とした会話文が提示され、経度や宗教、用語補充と説明について問われました。

3. 特記事項

本年度入試では、問題作成者や教育委員会、外部による点検を行っていたにも関わらず、採点基準の変更が行われました。国語が1回、理科が2回です。当方もかつて、模擬試験等を作成したことがありますので、改めて問題を作成することの難しさを改めて実感しました。

4. 最後に

本年度入試でも、全科目出題形式に変更はなく、教科書内容を満遍なく問うていると言えます。ただ、受検生にとっては例年と比べて難しいと感じたようです。一人ひとりの実情に見合った指導を心がけなければならないと思います。



エリア中国 西本 雅明 (パワーゼミ西本塾・広島県)

広島県立高校の入試問題について報告します。

近年の傾向として記述問題が増えました。かつて、社会や理科などは「一問一答問題集」で仕上げをしていたのですが、近年は記述問題対策に力を入れています。そして最終的には「入試大予言」という入試予想問題演習（オリジナル）で最後の賭けに出ます。理科は予想が当たる確率が高く（60%～70%）、人気講座になっています。「入試直前期」には、することがなくなるので、「入試大予言」はヒット商品です。国語は50分間で仕上げるには問題量が多すぎると感じています。その割に平均点が安定しているのは、正答率は低くても部分点で救ってもらっているように感じます。例えば30年度の国語の最後の記述では、正答5%+部分正答67%になっています。とにかく無答でなければ何かしら点をくれるので、しっかり書くように生徒たちには伝えていきます。

広島県立高校入試に似た模試はあまりないので、広島県学習塾協同組合では模擬試験を作成し実施をしています。記述の多い模試の採点は非常に時間がかかります。県立高校へは1校当たり300名前後の受験生が挑戦するので大変な労力が必要だと思います。模試でさえも国語の採点には10時間ぐらいかかる時もあります。ただ答える側の生徒たちは随分慣れてきたように思います。記述問題も無答は全県で10%程度です。社会は入試問題のパターンが、まだ確立していません。歴史的分野が少なくなり、地理と公民そして融合問題が出されますが、まだまだ形式や内容にブレがあり、予想問題が作りにくいと感じています。

英単語数（語）		
英語	2 会話文	3 長文問題
28年度	383	514
29年度	426	555
30年度	432	542
31年度	471	559

入試問題からピックアップした英単語のデータベースを使い英単語熟語プリントを作成していますが、過去のデータベースが役に立たなくなってきたと感じています。確実に難しい単語が増えてきているので、新しくデータベースを作り直す必要があると思っています。単語数も増えてきて長文も少しずつですが長くなってきました。数学も計算問題があるので平均点を保っていますが、正答率が一桁の記述問題があります。対策の仕方が未だに分かりません。他県との比較はできませんが大学入試に向けて中入試も高校入試も変化してきていることは確かなようです。

平均点の推移（50点満点）						
教科	国語	社会	数学	理科	英語	平均
28年度	25.6	21.2	24.8	19.7	23.7	23.0
29年度	23.9	19.3	23.0	17.1	15.9	19.8
30年度	23.5	18.0	22.4	19.1	24.4	21.5

記述問題の割合（%）						
教科	国語	社会	数学	理科	英語	平均
28年度	73	73	95	67	67	75
29年度	83	86	86	78	67	80
30年度	81	86	85	71	55	75



エリア関東 渡辺 浩 (渡辺塾・東京都)

令和を迎えました。僕が平成を迎えたのは高校2年生の時、あれから30年が経ちました。平成を迎えたときは、昭和天皇が崩御されたばかりということもあり、自粛ムードで始まったことを今でも覚えています。しかし、今回はおめでたいムードの中での交代でした。

さて、学習塾もいよいよ新しい時代に突入したのではないのでしょうか。少子化が叫ばれる中、個性重視・多様化といった言葉がメディアなどでも目立って使われています。そうした中で、ITやプログラミング、ロボット教室等様々な形態の学習塾が誕生してきました。一人ひとりのスキルに合わせ、個人が求める学習内容に寄り添う形での学習方法が注目されています。しかし一方で学習障害や発達障害といった悩みを抱える子供たちも少なくありません。ただこれは個性や多様化を目指した当然の結果だと思われま。そもそも一人ひとりのスキルには違いがあり、それを見て見ぬふりし十把一絡げで集団指導をしていたのが昭和時代。そこにメスを入れ個別指導に切り替えたのが平成時代。残念ながらこの個別指導が一人ひとりのスキルの差を縮めるどころか大きく拡げてしまった原因であると思います。

令和の時代はより個人差が広がるのではないかと心配されますが、そこに我々私塾の役割があるのではないのでしょうか。一人ひとりと向き合い、寄り添い、全力でサポートする私塾こそこれから迎える新しい時代に本当に必要な存在になると思います。

先輩たちが茨の道を開拓し、そこを踏み固め、そして学習塾の礎を築いてくれました。その道をしっかりと後継に繋ぎ、生徒や保護者から信頼される存在として認識されることが僕たちの世代の役割であると思います。今まで以上に生徒に寄り添い、全力で子供たちと向き合っていきます。

エリア四国 川原 洋一 (川原塾・愛媛県)

—2019年度入試を終えて—

愛媛県の中学入試は、12月23日の松山東雲中を皮切りに、1月5日に新田青雲中等教育学校、1月7日に済美平成中等教育学校、今治明德中学校が実施。1月9日に県立中高一貫校県下3校（募集人員各160人）が実施。県立中高一貫校の志願倍率は、去年より0.2高い平均1.34倍だった。同じ1月9日には国立の愛媛大附属中、私立愛光中学の入学試験が実施された。試験の内容は、筆記テストのほか、面接や作文などで、学校によって異なっている。

私立高校の推薦入試は、1月16日に、一般入試は2月5日、6日に実施され、受験者は増加傾向にある。

県立高校入試においては、推薦入試が2月8日に小論文又は作文と面接で実施された。2,086人が出願し、1,547人が内定した（倍率1.34倍）。総定員9,225人に対する推薦内定者の割合は16.8%である。内定しなかった受験生は一般入試を受験できる。

県立高校の一般入試は、3月7日、8日に、全日制52校（分校を含む）、定時制10校で実施された。最終入学者志願数は、総定員9,225人に対し、8,576人（推薦内定者を含む）で、倍率0.93倍であった。志願者数が定員を下回ったのは106学科（分校、くり募集を含む）のうち69学科になった。

私塾ネット四国 2019年度総会&研修会

日時：令和元年6月9日（日）

総会 午前11時～12時

研修会 午後1時30分～5時30分

会場：ホテルオークラ丸亀

TEL0877-23-2222

費用：研修会のみ1,000円 懇親会7,000円

☆宿泊希望者 5,600円（朝食付き）

問合せ&申込み：文化の森スクール（近藤）

TEL088-678-3744

研修テーマ

第1部 2020年大学入試改革

難化する数学にどう対処する。

そして中学数学からやるべきことは？

代々木ゼミナール数学講師

藤田 健司 様

第2部 2020年大学入試改革

その現況と最新情報

代々木ゼミナール入試情報室

山根 正義 様

第3部 グループディスカッション

懇親会 午後6時～8時

2019年度代表者会議報告&事業計画

事務局長 鈴木正之

全日本私塾教育ネットワークの代表者会議が平成31年4月21日（日）東京ガーデンパレス（文京区：御茶ノ水）3階の桂で開催されましたのでご報告させていただきます。

※代表者（執行役員）19名中、参加14名、委任状1名、計15名出席により過半数を超え定足数を満たしました。

【議題】

- 第1号議案 平成30年度
事業報告及び平成31年度事業予定
- 第2号議案 平成30年度 決算報告
- 第3号議案 平成31年度 事業計画案
- 第4号議案 平成31年度 予算案
- 第5号議案 役員異動
- 第6号議案 その他
- いずれも、全会一致を持ちまして承認されました。
- 第3号議案 平成31年度事業計画案詳細
1. 広報により一層の会員の結束を強化し、センター活動のレポートも引き続き掲載していく。
 2. エリアの活動の活性化を図る。
 3. 他団体の活動への参加と協力を積極的に行う。
- NPO塾全協：「未来を考える会」で定期的に話し合い継続。合同研修会実施へ。
- 千葉学習塾協同組合：引き続き友好団体の関係を継続。行事を会員に告知していく。
- 埼玉私塾協同組合：引き続き友好団体の関係を継続。交流を深めていく。

他団体…東京私塾協同組合・全国学習塾協会・全国学習塾協同組合・関西私塾連盟

4. 学習塾団体グループの見直し。
コンソーシアム協議会、合同会議、議連への参加と私塾ネットの立ち位置の明確化を図る。
5. 会員MLの構築：ルールを明確にして、ホームページや広報に載せられるものは随時載せていく。全国の会員の意見を幅広く聞き、情報の共有と会員間の交流を目指す。次回の広報にその旨掲載して会員に参加を促す。

第5号議案 役員異動詳細 ※敬称略

1. 役員改選：今年度は役員改選がありません。仲野十和田理事長体制を継続します。

2. エリア代表

エリア中国代表 西本雅明 ※エリア中国総会で選出

3. センター役員 ※理事長により選任

会長 鈴木正之

副理事長 佐藤将紀

事務局長補佐 中村庸彦

最高顧問 谷村志厚

第6号議案 その他詳細

1. 昨年の代表者会議で決定した事項の改正を行いました。
2. 発足20周年記念としての全国研修大会実行委員会を立ち上げます。田中宏道研修部長が実行委員長として理事長から選任されました。

平成31年度・私塾ネットセンター事業計画

1. 事務局

- (1) 会員（会員・賛助会員）の在籍管理
- ①会員の在籍管理
- *各エリアからの報告により在籍管理を行う。
 - *エリアを介さない会員の入退会処理と在籍管理を行う。
 - *各部への情報伝達（会計・広報・渉外・ネット管理）、各種登録（郵送物・FAX）を行う。
- ②賛助会員の在籍管理
- *入退会処理と各部への情報伝達（会計・広報・渉外・ネット管理）をする。
 - *情報（校長、担当者等）を入手し、各部へ伝達する。
- (2) 情報収集と発信、エリアや各部との連携
- ①センターとエリアの行事及び各種情報の収集と発信
- *エリアの行事及び伝達事項を（役員、会員、外部に）発信する。
 - *エリアの行事及びエリアや会員の情報を（役員、会員、外部に）発信する。
 - *外部（他団体、行政等）の行事及び情報を（役員、会員、外部に）発信する。
- ②エリア、各部会、委員会との連携
- *ネット管理部と連携し、行事予定と報告等の情報をホームページに掲載する。
 - *慶弔規定に則し、渉外部と連携し対応する。
 - *外部イベント参加の取りまとめを行う。
 - *研修の外部参加者の動員と受付を行う。
 - *エリアの情報収集を行う。
- (3) 代表者会議（定例・臨時）の立案と運営に関する業務
- *議決は、会議あるいは文書書面上（インターネット、メール）で執り行う。
 - *代表者会議に関わる業務（通知作成、招集、出欠、必要書類作成）を行う。
- (4) その他
- *私塾ネットの窓口となり、目的達成のため会全体の運営を潤滑に進める。

2. 会計部

- 会費の請求、徴収、事業経費の収支管理
- *各エリアの会計部より、会費の徴収を行う。
 - *エリアを介さない会員への会費請求と徴収を行う。
 - *各部局経費の収支管理を行う。
 - *エリア会計からの一括徴収への移行に向け、徴収方法の改善を行う。

3. 渉外部

- (1) 他団体や行政関係のイベント、会議への参加協力
- *エリアと連携し参加者の取りまとめを行う。
- (2) 他団体や行政との強い協力体制の構築

- *全国学習塾合同会議と連携し、他団全体の運営を潤滑に進める。
- *教育関係団体や学校と交流し、情報交換と意見交換を行う。
- *文部科学省、その他教育関係行政との連携と情報交換、意見交換を行う。

4. 広報部

- 広報誌の発行と発送
- *広報誌編集委員を招集し広報誌を発行し発送する。発行は年4回。
 - *エリア代表やエリア広報と連携し、原稿（行事、コラム等）の依頼と収集を行う。
 - *賛助会員の掲載の更新、新入会の会員を紹介する。

5. 研修部

- 発足20周年記念・全国塾長職員研修大会の実施
- *実行委員会を組織し企画と運営を行う

6. ネット管理部

- (1) ホームページの管理と更新
- *活動報告、会員名簿、賛助会員名簿、役員名簿、行事予定等の更新を行う。
 - *広報の更新を行う。
- (2) メーリングリストの管理
- *構築と管理を行う。

7. エリア活動推進部

- *エリアに代表、会計、広報の役割分担を推進する。
- *総会（役員選出、決算予算、行事報告と行事予定）、各種行事の開催を推進する。

8. 私塾ネット・ジュニアの会

- 次代を担う塾人の育成
- *後継者育成のため研修会を実施する。
 - *エリアと同様に独立して会の運営を行えるものとする。
 - *私塾ネット以外の塾人も参加できるものとする。



4月21日開催の私塾ネット代表者会議風景



第17回全国塾長・職員研修大会開催される 平成31年4月21日（日） 東京ガーデンパレス

広報部長 大住明敬（聖学舎）

木下晴弘先生を迎えての第17回全国塾長・職員研修会が4月21日に、東京湯島の「東京ガーデンパレス」にて行われました。当日の雰囲気を楽し出したと思いきや、握っています。

御茶ノ水、聖橋を下ったところにある会場はもう何回も使用していますので、スタッフも余裕をもって準備されていました。しかし、年に1度の私塾ネットの最大行事です。皆さん緊張の中で行動されていたことは確かです。田中研修部長以下、スタッフとして活動された皆さんに、まずお礼を述べたいと思います。ありがとうございました。

さて、受け付け開始してまず、いつもと違うなと思ったことがあります。スタート当初に過去何年かの様子をビデオにて流し、振り返るときがあったのですが、そこに出ている諸先生方とは違うなと思うことがありました。それは、木下先生が入り口受付に、ずっと立たれ、来られた方お一人お一人を歓迎の思いで迎え入れていたことです。長年人間力を磨く活動をされている先生らしく、お客に対する熱い思いの表れと感服しました。

木下先生と私塾ネットのお付き合いは、13年も前に逆上ります。私の場合は、当時開塾して10年今一つ塾業務にのめり込めず、何かマンネリ化したものが出てきて、塾仕事はこんなもので良いのかなと思っていた時に先生と出会いました。先生のお話に衝撃を受けましたね。こんなにも生徒をひきつけ、塾仕事の大きさをまざまざと見せつけられたことを覚えています。私塾ネット会員の方たちもそれを感じたと思います。千葉などで木下先生をお招きしての研修会が何度も開かれ、先生から多くのものを吸収しようと思いました。その先生と13年ぶりの再会です。期待を膨らまして臨んだ方が多かったと推察します。今回の先生のお話は、やはり裏切りませんでした。先生の活動も塾だけでなく、広く教育関係全般にわたり、さらに一般企業まで関心を持たれているとのこと。そして、なんと先生のセミナー受講者数は33万人を超えたとのことです。そんな先生をお迎えしての研修会が開かれたのです。



司会は、毎年流ちょうに進行を促す、ラピス鎌ヶ谷の田中宏通先生。

主催者挨拶はナカジユクの仲野十和田先生。私塾ネットは多くの企業に支えられていることへの感謝と、今年の民間大賞に安藤、渡辺の両先生が受賞されたことの称賛を述べられた。そして、受賞された渡辺先生のことと、最近テレビ放映された「みかづき」のドラマから、昔の塾の大変さを知るとともに、塾の大切さを強く知らされたとの話があった。



続いて来賓の挨拶。学校代表として、こちらも毎年お願いしている東京女子学園中学校高校理事長校長の實吉幹夫先生。高校2年生の新しいテストに言及され、もっとじっくりと生徒に考えさせる配慮が必要ではないかと強調された。高大接続の問題は根深いな、との印象を受けました。



さらに、塾団体の代表として、社団法人全国学習塾協会副会長の山下典夫先生のお話をいただいた。教育業界は、子供たちに正解はこれだよと教えてきましたが、これからは違いますよ。今が大きな転換期ですねと締めくくられた。



続いて、私塾ネットエリア代表が紹介されて、各地の様子を簡単に話された。



しばしの休憩の後、木下先生の講演が始まりました。「想いを深める一未来につながる授業術」と題してのお話が始まりました。

視点として2つのことを述べられた。願望に惑わされず、自然界の法則にしたがうこと。現象に惑わされず、本質を見抜くこと。この二つのことについて、例を挙げて説明された。

① 「水は山の高いところから低い地平に流れる」という自然界の法則に逆らって井戸を作ったが、労力がかかるにもかかわらず、益は少なかった。

② 顔にできるニキビは現象であって、本質はニキビのできやすい体質にありますから、いくら薬を塗っても、現象は変化し色々な所にできます。従って、目に見えず、変化しない本質に切り込むことでニキビは退治できるのです。

つまり①、②の力を身に着けることが大切と先生は訴えられる。

学習関係で具体例を挙げられた。親が保護者会などで、子供にもっと勉強してほしいといった時、なぜお子さんに勉強してほしいのと聞く。「いい学校に入ってほしい」、「なぜ?」「勉強しておかないと将来困るでしょ」「なぜ将来困るとだめなの?」「できないよりできるほうがいいでしょ」「なぜできるほうがいいの?」と会話が続きとき、最終的には親から「子供に幸せになってほしいから」という本質を見出すことができます。つまり、むやみに努力させて、成功すれば幸せになると考えるのではなく、幸せになるためには、少しずつ努力することが大切で、そこから成功があるのですと説かれました。そこには、いくら努力を強制しても、本人の気持ちがついていかなければ、うまくいきません。生徒本人のやる気(テンションを挙げ、モチベーションを維持すること)が大切です。そのためには感動を与えなければならないとするのが先生の持論です。

感動にも外発的なものと内発的なものがある。お金を得た、ゲームに勝ったなどの外発的なものは「現象」であって、「本質」的なものを見抜いていかなければなりません。何のために勉強するのか、勉強は面白いものだから、目的実現のために頑張ろうという長期間持続できる感動を与えることが大切です。先生はそれを「感即動」と名付けておられます。哲学的に言えば何のために生まれてきたのかをしっかりと地に足をつけて考え進もうというのですね。

授業を通して、この「感即動」を伝える、感動演出法を先生はパラダイムシフトとして細かい指導法を述べていただきました。・・・ここからは先生の特許みたいなものですので省略させていただきます・・・形声文字、四字熟語、立体図形、三平方の定理、二次方程式などを駆使してお話いただいた先生、ありがとうございました。このお話を現場にてどのように活用していくか、大きな宿題をいただいたような思いでした。周りの皆さんも同じような気持ちではないでしょうか。

そして、先生への感謝の思いを込めた万雷の拍手とともに先生の講演は終わりました。やはり、木下節は健在だったなあと、感服する講演ではありましたが、内容が盛りだくさんのこともあり、少し食傷気味のところもあったようにも思えた。講演後の質問者の中にも、今日の話の重点はどこかと質問した人もいました。ノート・手帳のスペシャリストとして有名な静岡県算数・数学専門塾「オアシス」の小澤淳先生です。

木下先生は、それに答えて、お久しぶりの皆さんと会いましたので、色々な視点から盛沢山な内容に構成してお話ししましたと話された。先生のお話は体系化されており、13年前も、この全国研修会の後に千葉にて各セクションで数多くの研修を受けて、全体が把握できた経験を持つ私としては、先生が短時間で、親しい方たちに少しでもたくさんのお話ししたいと思われた心情がよくわかります。あ

りがとうございました。

しばしの休憩。のち4人1組となつての、アイスブレイク。

先生の話の感想やら最近の自塾やら自分の様

子などを一人が話し、それについてメンバーで談笑する時間を設けました。自塾でも、生徒にこの時間を設けられている塾も多く、違和感なく皆さんとお話してきたのではないのでしょうか。

そして、各エリア代表からの感謝の言葉の後、私塾ネット副会長の鈴木正之先生より第1部締めくくりに木下先生の話全般を通して、教え子たちはもちろんのことその保護者そして、教える私たちも幸せになれるのではなかと思うことができたとお礼の言葉を述べられた。ちなみに、鈴木先生はこの度、私塾ネットセンター会長としても活動の幅を広げていかれることも披露されました。期待したいと思います。

次に、本日参加されてのアンケートを書いていたしながらしばしの休憩、第2部の懇親会会場への移動となりました。

第2部は2Fの天空の間に席を変えて、参加の皆さんと懇親の時でした。1卓8名の9卓が出来た会場に参加者が順次指定の席に案内されました。司会は私塾ネットの若手塾長である長江先生・中村先生のお二人。ネットの未来を引っ張っていただかないといけない両名の少し緊張しながらの話しぶりでしたが、新鮮味のあるものでした。

1部に続いて仲野理事長より歓迎の挨拶がありました。その中で、公演された木下先生と、先生が師と仰がれている(株)シナーリースペース代表の鈴木博さんが紹介された。木下先生の人脈の広さを知らされました。

続いて私塾ネットセンター副会長の湯口健司先生の乾杯発声。湯口先生、スリムになられたなあ。来賓挨拶は、和歌山県から来られた高野山高等学校の小野芳幸校長先生、弘法大師の思いを受け継いだ130年を迎える伝統のある学校の校長らしく落ち着いた風情のある先生の称賛をいただきました。これからも良き御交わりお願いいたします。さらに埼玉私塾協同組合理事長の坂田義勝先生、全国学習塾協同組合副理事長長原昌弘先生からの来賓挨拶をいただきました。皆さん独特のキャラクターにて、個性豊かな



お話をいただきました。ありがとうございます。しばし歓談。(今回の食事ボリュームも味もよかったです)

私塾ネットエリア便りの時間。東北・関東・中国・四国の参加先生が登壇。エリア代表が最近の活動を紹介しながらメンバーを紹介した。新しくエリア中国の代表になられた西本雅明先生の副理事長の佐藤先生を立てながらの少し遠慮したような話しぶりは新鮮なものでした。

続いて恒例の7秒スピーチが、ベテラン司会者渡辺先生、柳田先生のグッドペ어의盛り上げる話っぷりのもと始まった。今年は少しパターンを変えました。テーブルごとのメンバーが登壇し、「実はこう見えても私は××××です」と叫んでもらう企画でした。いやあ、面白かったです。このまじめな先生が、こんなことをやっているのかと思わせる、ちょっと親しみを覚える時間でした。プライバシーのことであるので、内容は控えさせていただきます。ちなみに、わたし大住は「こう見えても演歌歌手朝香美穂の追っ掛けおじさんです」言い、皆さんに引かれてしまわれました・・・(笑い)

最後の催しは、ビンゴでした。みんな真剣に穴あけ作業に徹しました。

楽しい時間はすぐ終わりますね

最後の締めは、この度、私塾ネットセンター会長の職を辞することになった谷村志厚先生。

永年の職を辞するにあつての挨拶とともに、私塾ネットの未来は今日活躍したネットの先生方がいる限り明るいものだと話され、万雷の拍手を受けられました。理事長、会長として、また広報のいろはを教えて戴いた私としても、本当に感謝の何物でもありません。ありがとうございました。

午後8時過ぎ、すべての企画は終わりました。でも、名残惜しい人たちのために、2次会が設けられているようです。多くの方が会館内の「プラナット」に足を運ばれたようです。

私は、所用があつて参加できず失礼いたしました。会場外でタクシーを待たれる先生に接しましたが、先生から今日のお礼をいただくとともに、これからも多くの方に感動と意欲を持ってもらいたい旨のコメントをいただきました。

ありがとうございました。



①エリア中国、②エリア四国、③エリア東北の皆さんの紹介とご挨拶。右下右端、この日で役目を終えた谷村前会長も、「浩チャンズ」の迷司会ぶりにご満悦。お隣りは近藤エリア四国代表、梅沢東京立正中高校長

<2018年度 全国塾長・職員研修会アンケート>

<Q1. 所属はどちらですか？>

- ア) 私立学校 (5人) イ) 塾関連企業 (7人)
ウ) 私塾ネット会員 (13人)
エ) その他 (3人)

<Q2. 各コーナーや講演はいかがでしたか？>

Q2-1) 木下晴弘先生のご講演

- ・先生のお変わりないお姿とエネルギーなお話にも増して感動を頂きました。子ども達の目線に合わせた授業をしているのかどうか考えさせられました。ありがとうございました。
- ・とても素晴らしかったです。感動を頂きました。
- ・非常に感動しました。時間を忘れるくらいめり込みました。“パラダイムシフト”このフレーズは忘れないでしょう。
- ・本当に素晴らしいお話をありがとうございました。
- ・内容が面白く充実しており、全く眠くならなかった。今後の教育に生かしていきたい。エピソードには感動した。
- ・何回もお聴きしても、いつ拝聴しても新鮮で感動できる点。大切なのに忘れかけてしまいそうなことを再確認させて頂けて本当にありがたいと思いました。
- ・パラダイムシフトという言葉は初めてで内容も新鮮でした。
- ・とても素晴らしかったです。ありがとうございます。
- ・久しぶりにお話を伺えて改めて忘れていたことを思い出しましたし、研修(アビトレ)で学んだ内容を生かせていないと確認出来ました。教室に戻ってスタッフにフィードバックしていきたいと思いました。
- ・毎回ためになる話でありがとうございました。やる気をどう高めるかというテーマでまた話を聞いてみたいと思いました。
- ・10年以上前に社団の東北支部の講演でお聞きしました。やはり感動が人を動かすのだということを再確認いたしました。ありがとうございました。(以下省略)

Q2-2) アイスブレイクと

「深める。ご講演を聴いて」

- ・初めての方ともお話する機会が頂けてとても面白かったです。
- ・他の方の視点もきけて勉強になりました。
- ・非常に刺激的で楽しい時間でした。いい意味で緊張感もあり勉強になりました。
- ・皆さんが日頃どんなことを考えながら教育に取り組んでいるかよく分かった。
- ・異業種の方の考え方が参考になりました。
- ・人見知りや普段あまり外向的ではないですが、色々な方のお話を聞いて同じ内容でありながらポイント(受け取る)が違い再確認できてよかったです。
- ・初対面の方、様々な立場の違う方と話をしている刺激を受けました。木下先生と一緒に班になれたのはラッキーでした。
- ・様々な環境、日本中で塾があるのだと改めて感じました。それぞれの塾を始めたきっかけ、現状、今後の想いを聞けてとても刺激になりました。
- ・同じグループの方から塾に通わせる保護者の目線での話を聞くことができ、こちらも非常に勉強になりました。
- ・コミュニケーションの中で中学受験についてよく出てきて参考になりました。
- ・初めてお会いする方とお話する機会があり貴重でした。ありがとうございました。
- ・4分間が短かったです。楽しいひとときでした。また1年ぶりにお会いできた先生もいらつやあって嬉しかったです。
- ・パラダイムシフトについて話題があり、深められました。「驚き」「興味」「新鮮さ」についてあらためて考えました。
- ・学習塾の話聞くことが非常に勉強になります。また、学

習する機会を提供していただくことに感謝いたします。

- ・仲良くなれたと思う。アイスブレイクは苦手だ。
- ・諸先輩方の、日々のストレス解消法を伺えて勉強になりました。
- ・玉城先生が年齢にも負けず100kmマラソンに挑戦されていることに驚きです!これもパラダイムシフトですね。パラダイムシフトで楽しくすべての人が変身できる塾にしたいです。(以下省略)

<Q3. 本日の研修会はいかがでしたか？>

Q3-1) 満足度は?

- ア) とても満足 (22人) イ) 満足 (5人) ウ) ふつう (0人)
エ) やや不満 (0人) オ) 不満 (0人)

Q3-2) よかった点はどこですか?

- ・心に響いてきました。
- ・研修会の流れが退屈せず、時間があっという間に過ぎました。次回も是非参加させて頂きたいと思います。
- ・分かりやすかったこと、実践に根ざしていること、面白かったこと。
- ・木下先生の講演。(6人)
- ・教える側の予習をすることが大切なことをあらためて痛感した。
- ・自分も工夫次第で素晴らしい「時空間」を作れると新たに気付かせてくれたこと。
- ・テーマが良かった。次は同じテーマの周辺をふくらませて聞いてみたい。
- ・様々な立場の方と話ができたり、話を聞くことができよかったです。
- ・木下先生の講演は生で聞くことができる機会はあまりないので、とても貴重な経験となりました。他塾の方もお話できて非常に学ぶことが多かった。現場で実践できる内容でした。
- ・非情に勉強になりました。
- ・本質を見抜いて受験生の立場に立って一人ひとりの心に寄り添った受験相談を行っていきたくと改めて思いました。目に見えないものを大切に生徒に対しても保護者に対しても職場の人達に対しても家族に対しても接していきたいと感じました。(以下省略)

Q3-3) よくなかった点はどこですか?

- ・室内での運営スタッフの私語にご立腹だった方がいました。無理もないかと・・・
- ・映像が見えにくかった。
- ・木下先生がお話されている時に後方で話をされていた方がいて、非常に気になりました。費用を払って木下先生のお話を聴きにきているので、邪魔にならないようにして頂きたいです。
- ・開会するということで、いつまでも名刺交換をしている人達がいた。木下先生が話している時に後ろで打ち合わせか何かで話している人がいた。講演が終わった直後に司会の方が自分の感想を話していた。
- ・14時開演ということでしたが司会の方がお話ししているのに、なかなか名刺交換などがおさまらなかつたと思います。その影響か開始が1~2分遅れたように思います。途中から改善して頂いたのが良かったです。
- ・特にございません。(5人)

安藤進理先生・渡邊公雄先生

2019年民間教育大賞授賞式に出席して

中村直人(私塾ネット副理事)



桜の開花が近づく、2019年3月20日(水)に、日本民間教育大賞選定会議・株式会社塾と教育社主催の、日本民間教育大賞の授賞式・記念講演会・祝賀会が東京・神田 学士会館において開かれました。本年は我々

全日本私塾教育ネットワーク元顧問の安藤進理先生、渡邊公雄先生のお二人が、日本民間教育大賞・民間教育最高功労賞を受賞されるという、お祝い大変めでたい授賞式となりました。

私塾ネットも選定会議に参加していますので、私塾ネットとしては仲野十和田理事長、谷村志厚会長、私が出席。他に私塾ネット会員では、佐藤勇治先生、清水貫先生、渡辺浩先生、柳田浩靖先生などが他の所属組織から参加されておりました。

会は、例年通り木村吉宏氏を総合司会として午後2時より始まりました。塾と教育社社長の加藤麻由美様による大会のご挨拶があり、次いで記念講演会第一部、東京個別指導学院の齋藤勝巳氏による『『東京個別』躍進の鍵に---大学生との絆』という演題による講演がありました。

次の授賞式に先立ちまして、昨年業界に多大な貢献をなされ、お亡くなりになった先生方に黙祷を捧げました。選定会議顧問の衆議院議員下村博文先生の祝辞があり、登壇している教育大賞選定会議の構成九団体の代表者および顧問の先生方、各受賞者と代理の方々を前に、加藤社長の司会で式は行われました。

本年度、民間教育最高功労賞は、「桜学習会」安藤進理先生、「栄光ゼミナール」北山雅史先生、「民間教育連盟」森本一先生、「トーゼミ」守屋貴嘉先生、「人間教育渡辺塾」渡邊公雄先生の5名。民間教育特別功労賞は、「松原学院」故芝田光男先生、「代々木ゼミナール」故高宮行男先生の2名。

加藤社長が各受賞者のプロフィールと受賞理由を紹介し、私塾協同組合連合会理事長の坂田義勝先生が表彰状を読み上げ、NPO塾全協東日本ブロック理事長の内藤潤司先生が記念の盾をお渡しするという形で進行了ました。

安藤進理先生は当日体調が思わしくなく、ご子息の安藤光様が代理としていらっしゃいました。受賞理由は、東京都の民間教育・私塾教育の発展に寄与するとともに、私塾事業者間の交流・連携に寄与した功績ということでした。渡邊公雄先生は、東京都を中心とする地域の民間教育・私塾教育の発展に寄与するとともに、私塾事業者間の交流・連携に寄与した功績ということでした。安藤先生、渡邊先生お二方とも、東京私塾会から全日本私塾協会(PTF)のメンバーで、その後の社団法人全国学習塾協会や全日本私塾教育ネットワークの設

立に御尽力されました。

顕彰の後、祝電披露、各受賞者の一言挨拶、参議院議員大島九州男先生の祝辞があり、授賞式は無事終了。舞台上で記念撮影がありました。

授賞式後の小休止後、記念講演会第二部ということでした。が、急遽演題が変更され、日能研関東会長の小嶋勇先生によるフリーの談話となり、小嶋節の炸裂と相成りました。こうして、2019年の日本民間教育大賞授賞式と記念講演会は無事終了いたしました。

式終了後に盛大な祝賀会が催されました。各受賞者への花束贈呈、各団体の方のご挨拶、経済産業省商務・サービス政策課長の浅野大輔様や国会より駆けつけられました参議院議員の渡辺美知太郎先生のご挨拶等があり、華やかなうちに長かった一日もこうして午後7時頃には終えて散会となりました。



上左、渡邊公雄・浩さん

上右、安藤光さん

右、渡邊先生を囲んで私塾ネットメンバーが祝福。右から谷村、柳田、仲野



エリア関東恒例・私学情報交換会の記録

エリア関東の秋の恒例行事に「私学情報交換会」がある。私学の校長先生をお招きし、先生のキャリアや教育理念等を講演していただくものだ。第1回が昭和63年11月、以来31年の間、まさに平成の元号をなぞって、昨年10月に36回目を迎えた。この間この会のすべてを取り仕切ったのは桂馬辰尚先生。エリア関東の情報部長として、私学と私塾ネットをつないでこられた。平成から令和へ、時代の代わり目にあたり、これまでお招きした144の学校と先生方のリストを提供いただいた

- 第1回 昭和63年11月 松戸AIM進学セミナー
神田女学園中高・伊佐九三四郎副教頭
本郷高・板垣勝夫教頭
- 第2回 平成元年10月 池袋学伸会にて
北豊島中高・清水益太郎校長、春日井副理事長、高津茂先生、高橋徹先生
東京女子学院中高・福本明男先生
- 第3回 平成元年11月 金町尾沢進学教室にて
高輪中・桜橋稔教頭
洗足学園大付中高・前田隆芳教頭
- 第4回 平成元年11月 池袋勤労福祉会館にて
大東文化大一高・山田富朗教頭
足立中高・須貝哲彦副校長
品川女子学院・高橋溪子中学部主任
日本橋女学館中高・入江宏教頭
- 第5回 平成2年10月 池袋区民センターにて
文化女子大付杉並中高・鈴木剛入試対策主任
国土館中高・中元令土教頭、佐々木敬志入試副委員長
駿台甲府高・磯部先生（募集担当）
潤徳中高・大友恵生徒募集委員長
- 第6回 平成2年11月 金町尾沢進学教室にて
京北中高・間瀬正巳校長
藤村女子中高・高橋邦郎校長
立正中高・三戸敦久教務部長
滝野川女子中高・小泉昭一郎渉外部長
- 第7回 平成3年10月 大宮清水塾にて
聖学院中高・真田幸男校務部長
- 第8回 平成3年11月 金町尾沢進学教室にて
安田学園中高・石井弘司校長
成城中高・高橋徹教頭
千代田女学園中高・高田淳二教務部長
青蘭学院中高・福島貫一総務部長
- 第9回 平成4年度 金町尾沢進学教室にて
東京成徳大学付属中・木内秀樹校長
実践学園中高・松尾高佳入対部長
中村中高・小林和夫理事長
駿台学園・森下茂先生
- 第10回 平成8年度 中大会館にて
日本工業大学付属中・東京工業高
大森和夫先生
桜丘女子中高・安住豊教頭
駒込学園中高・河合孝充企画広報室長
東京立正中高・広川富男教頭、
西森源太広報部長
- 第11回 平成8年度 中大会館にて
八雲学園中高・近藤彰郎理事長、校長、

- 衛藤康弘先生、横山孝治先生、鈴木葉月先生
東京純心中高・内海道子先生
本郷中高・池田雅彦教頭
東洋高・斉藤元治教頭、高橋徹先生
- 第12回 平成9年11月 中大会館にて
東海大学高輪台高・杉一郎教頭
城西大学城西中高・加藤友博教頭、
大道敏史総務部長
愛国学園中高・菊池賢募集対策本部長
駒場学園高・馬場先生、古川先生、ほか1名
- 第13回 平成10年7月
池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
淑徳学園中高・落合康二入試委員長
麴町学園中高・入試選抜委員 櫻木哲先生
佼成学園中高・吉田重男事務長、
下川晃義先生
正則高校・永原三千郎教頭
- 第14回 平成10年11月
池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
淑徳巣鴨中高・中川武夫校長
東京立正短期大学・梅寿利朗総務部長
東京立正中高・藤井教戒先生
豊南高等学校男子部・小野征之教頭
東横学園中高・廣本忠紀教頭、二瓶克文入対
委員長、長谷川嘉一先生
- 第15回 平成11年7月
池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
立教高等学校・宮本憲教頭
跡見学園中等高等学校・主幹 入対広報室長・
大川幹博先生
豊島学院・昭和鉄道高等学校・
入試事務局・長谷川喜範先生
日出女子学園中高・小林洋子先生、
寺本郁夫先生、
安齋好之助先生
- 第16回 平成11年11月
池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
三輪田学園中高・西惇校長
城北中高・加藤健治校長
帝京中高・金野真行教務部長
東京女子学園中高・實吉幹生副校長
- 第17回 平成12年7月
池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
中村中高・清水益太郎校長、富田義道先生
京華中高・松下秀房校長、見附豊和広報室長
松陰中高 松陰女子大学・関根文雄広報室長
拓殖大学第一高等学校・板垣幸子入試副委員長
高千穂商科大学・
柴田稔入試課チームリーダー参事補
- 第18回 平成12年11月
池袋かんぽヘルスプラザ東京にて
東京経営短大村田女子高・村田照子理事長校
長、倉田政子広報主任
目白学園中高・香川雅則校長
独協埼玉中高・石井征次教頭
北豊島中高・高津茂校長

以下19回～36回は次号に続く

学習塾団体合同会議レポート

事務局長 鈴木正之

学習塾合同会議は5年ほど前から開催されている首都圏の主な学習塾団体間の会議です。令和元年5月14日の開催は第47回となりました。もともと、団体間の行事のすり合わせのために始まりましたが、教育界、学習塾業界の情報交換が行われています。出席者は各団体の役員（トップの方々）で、この日は、全国学習塾協会、全国学習塾協同組合、協同組合連合会、NPO塾全協、千葉学習塾協同組合、群馬学習塾協同組合、そして私塾ネットの7団体12名の出席となりました。

私塾ネットからは、谷村志厚先生、渡辺浩先生と私鈴木正之が主に参加しており、今回は渡辺先生と私が参加しました。

議題は、合同忘年会について、学習塾団体の合同研修について、参議院選について、議員連盟（自民党）についてでした。

合同忘年会は東京私塾協同組合主催から合同会議主催3年目を迎え、大きく見直すことになりました。実行委員に動員を強要しないこと、塾団体を中心に声をかけること。今年は沼田先生を中心に実行することになりました。大きな変

更点は、学習塾の先生で参加したい人が参加するということです。ですから、学校の先生や企業の方、そして政治家の先生も参加しない忘年会ということです。参加者も極端に少なくなるかもしれません。いずれにせよ義務で参加する忘年会は無しにしたいです。

合同研修は私塾ネット関東とNPO塾全協コラボの動きがあります。又、全国学習塾協同組合からも、主催する7/7の研修会へリーズナブルな参加費で他団体の先生が参加できる旨の話がありました。私塾ネットの研修会はオープンで、どなたでも参加できること、利益を上げることを目的としていませんので参加費は無料、研修費をいただくにしても数千円以内で行ってきています。これからも、どなたでも参加しやすいイベントの開催が私塾ネットらしさかなと思います。

参議院選については私塾ネットが組織としては動くことはありませんので割愛します。議員連盟の経過報告として、協会の安藤会長から、①学校の部活動のガイドライン逸脱があるので、現状を調査し改善を。②ICT教育の推進。③貧困家庭に教育バウチャーを国費で行う。という政策提言をまとめているとの話がありました。

五月連休中に、長江勝秋先生を囲んで

中村直人（神奈川：中村学院）

長江勝秋先生は、昭和19年生まれで、長いこと川崎新城の地で塾をやられてきました。神奈川私塾会→PTF→全日本私塾ネットワークに所属し、ご活躍されてきました。私塾ネットにおいても、大兄貴分として皆から慕われている存在です。だいぶ前にご病気になり、塾のほうは引退されています。まだ左半分に麻痺が残っているようで、普段は車椅子ですが、補助の杖を使ってゆっくりですが少し歩けるようになっています。

さて、毎年5月連休中に先生を慕う者たちが、先生のお顔を見に武蔵新城に集まるのがここ数年恒例となっています。今年も5月2日に、先生のお宅の近くの串カツ屋で、先生を迎え一杯やることになりました。英数学院の後を継いでいる広紀先生が幹事で、新会長の鈴木先生ご夫妻、理事長の仲野先生、関東代表の渡辺先生以下総勢11名が出席しました。

乾杯の後、各人の近況報告と進み楽しく過ごすこととなりました。先生もお顔のつやもよくお



右端が長江勝秋さん、お隣りは奥様、ピースサインはご

元気そうでなによりでした。ただ先生、ノンアルコールで乾杯というところが残念だったかもしれませんが。かつては、相当お飲みになっていましたからね。集まった方たちの大半が、とんでもなくお飲みになるので、お開きの後の2次会・3次会は必然だったようです。来年も先生を囲み、皆で楽しく集まれるように、また今年一年頑張りましょう。

私塾ねつと誌上句会 第三十五回

大阪城中国語ばかり秀頼忌

励ましに集う仲間はまずビール

中村直人 (神奈川県)

昨今国内の観光地は外人さんに占拠されている。お花見シーズンの上野のお山もまさにこれ。「花見客異国言葉の花盛り」。

半そでが目立つ渋谷の交差点

会いに行く入道雲と雨の中

長江勝秋 (神奈川県)

渋谷駅前のスクランブル交差点は今や世界的な観光地。しかしまあ、なんでもこんな人が多いのだ東京は、毎日がお祭りか？と感じるのは我々お上りさんに共通の第一印象。

遙かなる祖父の蒸したる粽かな

新緑に溢れて令和始まり

木内恭裕 (徳島県)

♪ちまき食べ食べ兄さんが、測ってくれた背の丈♪だが、子どもの日にちまきを食べた記憶がない。もっぱら柏餅であった。ちまきか柏餅か地域差があるようだ。

母の日のメール秘露の娘から 薄紅の胡蝶群れるや花木

谷村志厚 (千葉県)

次女がベルに暮らしていて、この夏現地での出産を予定している。居住している古都クスコは標高3400メートル、富士山の頂上のような高地に30万人が暮らしているらしい。ご飯を圧力鍋でたくような高地での出産で大丈夫なのと、我々低地民族は気がかりだ。母子ともに無事な出産を祈るばかり。

閑話休題 (編集後記) 編集長 谷村志厚

1ページで私塾ネットセンター会長退任の挨拶をさせていただいた。広報の編集長役は、後1年をめやすに継続させていただくことになった。これから一年で4号分を制作すれば、お役目ご免となる。その間に若手の編集者に引き継ぎをしなければならぬ。これを機会に、現在の編集スタイルの大変革を検討されてはいかがだろうか。それは従来の紙もの広報誌が必要かの議論を含めてだが。私個人は紙もの広報誌は、必要なものだと信じてはいる。なにしろアナログ世代の残滓を抱えていますのでね。ではデジタル世代の方々の意見はいかがなものであろうか。

さて、元号が平成から令和の代わって、世間ではまるで大晦日の様なムードであった。折から大連休中あって、行楽地はいずれも盛況だったようだ。テレビでは年末年始のようなバラエティ番組が生まれ、毒にも薬にもならないような能天気な放送が垂れ流されていた。

5月1日、たまたま東京都内に行く機会があり、その流れで皇居に足を向けた。日ごろから開放されている皇居東御苑を散策した。大手門から入り江戸城天守閣跡を巡り北桔橋門に抜けるコースである。即位日当日とあって、さすがに厳かな雰囲気であろうと期待していたのだが、ふだんと変わらぬ休日ムードで、ここでも外国人観光客の姿が目立っていた。

このコースの売りは江戸城天守閣跡だ。世の中

には「ありそうでないもの」が存在するが、江戸城の天守閣もその一つではなからうか。なにやら映像で見たような記憶があるが、それは虚構か幻想である。たしかに500年前には日本最大級の大天守閣がそびえていたそう。ところが1657年の明暦の大火で焼失後は、一度も再建されていないのだとか。徳川の治世はその後200年も続くのだが、なぜ再建がなされなかったのか？答えは、軍事力を背景とした「武断政治」から、法や制度の充実による「文治政治」への移行ということのようだ。天守閣跡に立ち、かつての江戸城城下である都心ビル群を見渡していると、ふとある方のお顔が浮かんだ。千葉の長谷川洋男さんである。彼には双子のご兄弟がいて、一度酒席を共にしたことがあったのだが、いやいやよく似ておられましてね、姿かたちも酒の飲み方までも、この方が「江戸城天守を再建する会」なるNPO法人の名刺をお持ちだったことを思い出したのである。明暦から数えて元号を幾つ重ねたかは知らぬが、令和という新しい時代が始まるこの日、令和の時代にはたして再建となるか、野次馬精神で期待したいと思う。

12頁に私学情報交換会のレポートを掲載した。昭和63年11月の第1回が当方の塾での開催であった。翌年から平成が始まり、平成最後の会が30年12月にナカジユクで開催された。これが第36回目の会であった。この間すべてを取り仕切ったのは桂馬辰尚先生(桂馬ゼミナール・東京都足立区)。小生とは旧PTFからの同士である。平成の30年間、塾団体と私学を繋いだ彼の功は大きい。改めて誌面を借りお礼を申し上げたい。

私塾ネットセンター 事務局通信



事務局長 鈴木 正之(いぶき学院)

◆4月21日の私塾ネット全国研修大会にご参加された皆様、本当にありがとうございました。そして、実行委員の先生方、お手伝いの先生方、そして田中宏道先生お疲れ様でした。私の準備が不十分である中で、多くの方の力で会を開催することができました。ありがとうございました。

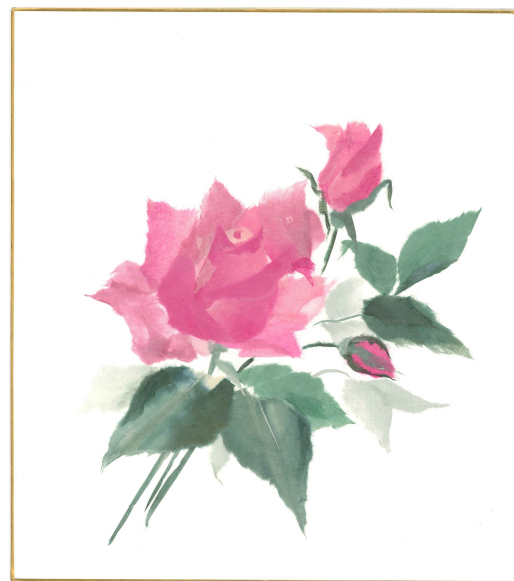
◆さて2019年5月1日「令和」がスタート。どんな時代になるのでしょうか。外交、経済、災害と色々な不安要素がありますが、どうなるにせよ基本が人である以上、教育でしか未来は変わらない事、良くなる事、悪くなる事は確かです。我々学習塾の「令和」での人づくりの鍵は、4月21日の私塾ネット全国研修大会での木下晴弘先生の話の中にあるような気がします。少子化が進み、学校への合格は易くなる傾向、さらに有名な学校に入学しても、大企業に就職しても安泰という時代ではありません。そうすると学習塾や予備校は、合格実績を売りにできなくなる気がします。さらに不登校の子が増え、通信制の高校が生徒を増やす今、成績を上げる事を目的としなくなるかもしれません。そうすると学習塾の役割は、合格をさせる事や成績をアップさせる事ではなく、子供たちの安らぎの場、居場所の提供になるのではないのでしょうか。合格と言う結果よりも一生懸命にやったという達成感を与えることも役割になるのではないのでしょうか。つまり、成績や可否という

目に見えるものではなく、安らぎや達成感と言う目に見えないものが求められる時代が「令和」かもしれません。

◆全国研修大会の前に行われた私塾ネット代表者会議において、谷村志厚先生が会長職を降りられることになりました。私塾ネットは発足20周年を来年迎えますが、私はその前身である学習塾団体の1つであるPTF(全日本私塾協会)で当時、事務局長だった谷村先生と理事長の平林治先生と出会いました。「こんなに凄い人達がいるんだ。」と思い、私は2人についてここまでやってまいりました。私にとって、2人とも私塾ネットの執行役員から外れるということは、いきなり道標が外れてしまった感じでした。しかし、今まで谷村先生や平林先生から学んだことを糧として「令和」で進化した私塾ネットをお見せできるようにしたいです。谷村先生には、私塾ネットでご一緒させていただいた事を光栄に思っております。ありがとうございました。今後もご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

又、今年度は私が私塾ネットの事務局長をさせていただきますが、事務局の体制を強化すべく、中村庸彦先生(川崎:中村学院)に事務局長補佐をさせていただきます。さらに、事務局次長として引き続き、長原糸恵先生(練馬区:のびのび学習教室)と長江広紀先生(川崎:英数学院)にお願いすることになりました。「令和」も事務局は頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

「薔薇」という漢字は「檸檬」「憂鬱」と並んで、書けない漢字の代表ではなからうか。ちなみに漢字検定では準1級に属するようだ。ところで俳句では薔薇を音読みで「ソウビ」と読む例が多い。バラだと2音だがソウビだと3音になり「かな」「けり」の2音の切れ字が付きやすいからだろう。また、ソウビというやや気取った音が、西洋的で豪華なバラの佇まいに似合っていることもあるうか。さて添え句の「造化の妙」なる一語。造物主(創造主)が作った人知を超えた物の意だが、たしかに複雑な花卉の作りと美しい色合いといい、言いつて妙であるう。ただし「造化」を「造花」と誤植するとまったく別な句意になってしまう。漢字の変換ミスには要注意である。ところで中村草田男の句に「咲ききって薔薇の容(かたち)を超えけるも」がある。咲ききるとせつかくの造化の妙が崩れるとの指摘だろうか。だが、下五の「超えけるも」の余韻で薔薇のバラたる体面を保っているようだ。(谷村)



一輪の薔薇は造化の妙語る(直人)

ちぎり絵歳時記⑬(薔薇) 作画・中村光江

賛助会員一覧（順不動）

関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	村山サトウ先生 TEL03-3376-2244
東洋高等学校 東京都千代田区三崎町1-4-16	石井 和彦先生 TEL03-3291-3824
桜丘中学高等学校 東京都北区滝野川1-51-12	高橋 知仁先生 TEL03-3910-6161
聖徳大学附属女子中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	川並 芳純先生 TEL047-392-8111
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	大野 博人先生 TEL03-3263-3014
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	宇野 禎弘先生 TEL048-737-7611
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	安原 正樹先生 TEL03-3312-1111
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲 2-14-1	横山 孝治先生 TEL03-3717-1196
武蔵野中学高等学校 東京都北区西ヶ原4-56-20	後藤 伸一先生 TEL03-3910-0151
和洋国府台女子中学高等学校 千葉県市川市国府台2-3-1	和田 伸平先生 TEL047-371-1120
東洋大学付属京北学園 東京都北区赤羽台1-7-12	杉原 米和先生 TEL03-5948-9113
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	増田 宇 先生 TEL03-3762-7336
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区豊島8-26-9	野中 修也先生 TEL03-3911-2786
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	河村 文夫先生 TEL03-3467-2130
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	伊東 充 先生 TEL03-3782-1502
東京女子学園 東京都港区芝4-1-30	実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	河合 孝允先生 TEL03-3828-4141
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111
安田学園中学高等学校 東京都墨田区横綱2-2-25	磯 正樹先生 TEL03-3624-2666
日本音楽高等学校 東京都品川区豊町2-16-12	伊庭 崇 先生 TEL03-3786-1711
立正大学付属立正中高等学校 東京都大田区西馬込1-5-1	今田 正利先生 TEL03-6303-7683
上野学園中学高等学校 東京都台東区東上野4-24-12	高橋公三子先生 TEL03-3842-1021
二松学舎大学付属高等学校 東京都千代田区九段南2-1-32	車田 忠継先生 TEL03-3261-9288
村田女子高等学校 東京都文京区本駒込2-29-1	二渡 道雄先生 TEL03-5940-4455

自由学園（中等部・高等部） 東京都東久留米市学園町1-8-15	更科 幸一先生 TEL042-422-3111
京華学園 東京都文京区白山5-6-6	今野 巖 先生 TEL03-3941-6493
武蔵野大学千代田高等学院 東京都千代田区四番町11	渡部 隆巳先生 TEL03-3263-6551
目黒日大中学高等学校 東京都目黒区目黒1-6-15	天野 正貴先生 TEL03-3492-3388
共栄学園中学高等学校 東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	松宮 博 先生 TEL03-3601-7136
中村中学校・高等学校 東京都江東区清澄2-3-15	富田 義道先生 TEL03-3642-8041
文教大付属中学高等学校 東京都品川区旗の台3-2-17	神戸 航 先生 TEL03-3783-5511
国際高等専門学校 石川県金沢市久安2-270	松尾 多郎先生 TEL076-248-1080

(株)創開コミュニティー 千葉県柏市柏2-7-22-202	小林 和光様 TEL04-7164-6511
(株)私塾界 豊島区東池袋1-39-1三善ビル	山田未知之様 TEL03-3987-0838
(株)SRJ 中央区京橋3-12-7 京橋山本ビル9F	板橋 玲 様 TEL03-6865-6380
デザインオフィススズキ 千葉県柏市柏687-6	鈴木 学 様 TEL04-7164-8276
(株)エデュケーションネットワーク 千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F	稲垣 憲之様 TEL03-5275-2101
(株)POPER 千代田区東神田2-1-8秋葉原クロスサイト	栗原 慎吾様 TEL03-6265-0951
(株)塾と教育社 東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	加藤麻由美様 TEL03-6265-6855
株式会社 ブックモールジャパン 埼玉県戸田市上戸田4-2-33	攪上 聡 様 TEL048-447-7457
教育開発出版株式会社 東京都杉並区下高井戸1-39-12	糸井 幸男様 TEL03-3304-5321
株式会社ナイズ 横浜市都筑区中川1-20-1	富樫恵智子様 TEL03-3304-5321
(株)クロノクリエイト 渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル	添田 大亮様 TEL03-5468-6986
(株)声の教育社 新宿区新小川町8-15	中村 千尋様 TEL03-5261-5061
エスディーエムコンサルティング(株) 調布市入間町1-31-23	坂尻 俊樹様 TEL03-3484-1212
ソルナ株式会社 中央区築地2-9-4 SOLUNABLD	森 雅人様 TEL03-6721-1861
アロー教育総合研究所 中央区神田小川町3-8 神田駿河台ビル5F	古川 貴央様 TEL03-3259-2851